

10月18日~20日 多数傷病者事故を想定し、消防と医療が合同訓練



写真=訓練で、蜂の刺傷や熱中症、過呼吸症状など多数の傷病者を処置する消防職員とドクターカーの医療スタッフ

島尻消防組合は多数の傷病者が発生した場合の事故対応訓練を、県内のドクターカースタッフ(南部徳洲会病院・ハートライフ病院・友愛医療センター)と合同で実施しました。

訓練は事前に詳細を知らされないブラインド形式で行われ、初日はスズメバチ刺傷による集団事故、二日目はバスと乗用車の衝突事故、三日目は無差別殺傷事故及び群衆雪崩を想定し、事故発生初期対応やトリアージタッグ(治療の優先順位を示す識別票)の取り扱い、消防と医療機関の連携訓練などが実施され、対応能力の向上が図られました。

10月21日 【世名城】外間ミヨさんの「カジマヤー 祝い」で親族が祝福



旧暦9月7日にあたる10月21日、字世名城の外間ミヨさんのカジマヤー祝いが、サザンビーチホテル(糸満市)で開かれ、親族らはミヨおばあちゃんの長寿をお祝いしました。

八重瀬町では今年34名の方がカジマヤー(数え年97歳)を迎えました。

皆さま、ご長寿おめでとうございます。



写真=39名の孫・ひ孫から一輪挿しの花を受け取るミヨさん

10月22日 南の駅やえせで「将棋大会」開催 出口若武六段による指導対局も



八重瀬町観光物産協会長杯「将棋大会」(主催:日本将棋連盟沖縄県支部連合会)が南の駅やえせで開催されました。

参加者の棋力でエントリー部門を振り分け、午前に予選、午後にはトーナメント本戦が行われました。また、同会場でプロ棋士の出口若武六段による指導対局が行われたほか、南の駅やえせで利用できる100円チケットが参加者全員に配られるなど、より楽しめる企画が実施されました。



出口六段との指導対局(四面差し)

11月4日 【当銘】子ども会主催の「秋祭り」



第3回ていみぐら子ども会主催秋祭りがコロナ禍を経て4年ぶりに開催され、区民らは久しぶりの秋祭りを楽しみました。

祭り会場の当銘公民館前広場では浴衣や甚平を着た子どもたちの姿も見られ、音楽が流れると区民らは会場中央の櫓(やぐら)を囲んで輪になって踊り、祭りを堪能しました。

会場にはガラポン抽選会や輪投げ、射撃ゲーム、お弁当や菓子を守る出店などが並び、特別出演でやえせのシーちゃんが登場した際には子どもたちの喜びの歓声で会場が賑わいました。

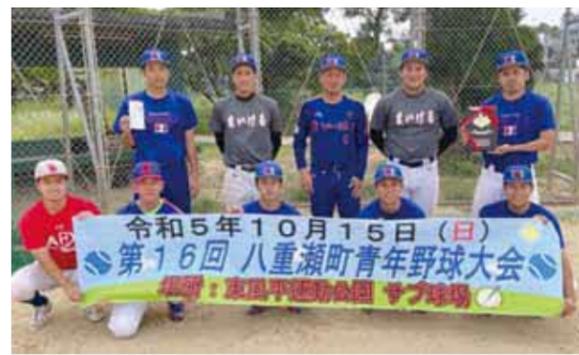
10月18日 【町女性連合会】初めてのフードドライブで地域貢献



八重瀬町女性連合会(永山会長)は、八重瀬町社会福祉協議会が実施するフードバンク事業へ会員から集めたお米や缶詰、調味料、レトルト食品など約150点の食料品を寄贈しました。

女性連合会の永山会長は「地域貢献としてフードバンク事業に協力したいと考えていた。今回は全会員に声掛けできなかったが、今回は活動を広げていきたい」と話し、寄贈を受けた社協の石川事務局長は「コロナ禍以後、困っている世帯が多い中、非常にありがたい。有効に使わせていただきます」と感謝を表しました。

10月15日 町青年野球大会 東風平 マイケルズ 優勝



第16回八重瀬町青年野球大会が東風平運動公園サブ球場で開催され、熱戦が繰り広げられました。

決勝戦は、東風平マイケルズが東風平ビッグスターズを7対3で制し、見事優勝を飾りました。

優勝した東風平マイケルズは町代表として、来年に開催される沖縄県青年野球大会へ派遣される予定です。



9月29日 【新城小5年生】環境保全でグリーンベルト植栽活動



新城小学校5年生は、グリーンベルト植栽を通して自然環境保全への理解を深めるため、字志多伯と字東風平の農地4か所でベチバー(イネ科の植物)計670束を植栽しました。

グリーンベルトとは、畑の周囲や斜面下などに草木を帯状に植えて赤土等の流出を防止する対策のこと。NPO 法人おきなわグリーンネットワークの支援により実施され、児童らは9月5日に赤土等の流出による影響などを事前学習し、9月29日に植栽活動を行いました。

9月20日~29日 子育てサポート会員養成講座



八重瀬町ファミリー・サポート・センターは、地域で子育て支援を行う人材を育成するため「子育てサポート会員養成講座」を開催しました。

6日間にわたる講座で、各専門分野の講師を招き講義や保育現場での実習など、合計24時間の講習カリキュラムを実施し、全日程を受講した7名が新たなサポート会員となりました。受講者は「できる限りサポートの協力ができたらいいなと思います」と今後の活動を心待ちにしていました。